

肺機能検査

○検査内容

人の生活には酸素が重要です。どの位効率よく酸素を体に取り込むことが出来るかは、肺の働きに大きく関係します。肺がどの程度膨らむことが出来るか、息を吐き出すことに負担は無いかなどを調べます。肺の換気の善し悪しをみるもので、肺活量などを測定します。

○検査の実際

・普通の呼吸（安静換気）、もうこれ以上吸えない（最大吸気）、これ以上吐けない（最大呼出）、勢いよく一気に吐く最大努力呼出などいろいろな呼吸法で検査をします。

・Heガスなどを用い肺容量などを測定することもあります。

○検査時間 : 15~30分



気道過敏性検査

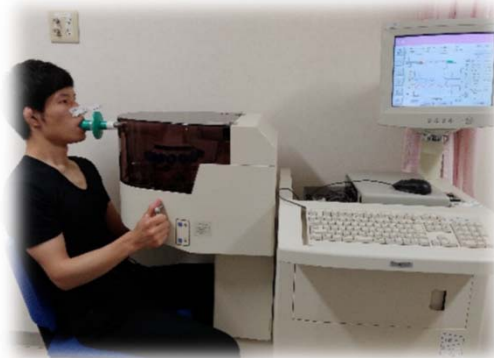
○検査内容

喘息の様子など気道の過敏性を調べるものです。薬を霧状にして、濃度の薄いものから少しずつ濃いものを普通の呼吸で吸入し反応をみます。

○検査時間 : 約20分

○注意事項

検査当日は12時間前より飲み薬や吸入薬を止めて検査します。



喘息発作症状や咳込みが強い方は検査出来ないことがあります。また、気分が悪い方は検査担当者にお申し出下さい。



尿素呼気ガス試験（ピロリ菌）

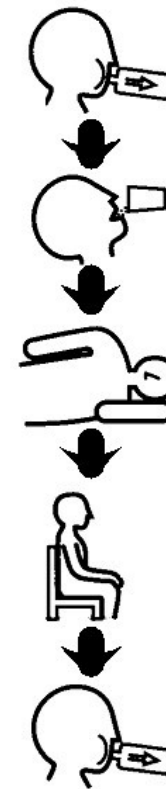
○ピロリ菌（ヘリコバクター・ピロリ）とは ○検査手順

ピロリ菌とは1982年に発見された細菌で、この細菌の感染が上部消化管疾患と関わっていることが明らかになりました。ピロリ菌の除菌を行うことで消化性潰瘍の再発が著しく減少することが分かっています。これまでは、胃・十二指腸潰瘍の再発は、患者さんの体質が原因と考えられていましたが、ピロリ菌の発見により、細菌の感染が胃・十二指腸潰瘍の原因であり少なくとも再発の要因であると考えられています。

○検査内容

ヘリコバクター・ピロリは強いウレアーゼ活性を持っており、尿素をアンモニアに分解することによって、胃内の強い胃酸存在下でも菌の周囲を中性に保ち、胃の中に存在している。このウレアーゼ活性を利用してピロリ菌を検出するのが尿素呼気ガス試験です。

○検査時間 : 約25分



鼻から息を吸って**10秒程度**息を止めてから呼気バックにゆっくりと息を吹く

検査薬を服用する

左側臥位で5分間寝る

座位（待合室にて）
15分間待つ

鼻から息を吸って**10秒程度**息を止めてから呼気バックにゆっくりと息を吹く

○注意事項

・胃内に食物残渣があると検査に影響しますので、検査前の食事はできません。ただし、水分はお摂りになってもかまいません。

・呼気を採取する際は**5~10秒程度**、息を止めていただきます。